

ふたご文芸

短歌（蘭越短歌会から）

伊東としえ
朝発らの帰る車窓で笑む曾孫
抱きしわが手に重みを残し
中林 トメ
孟蘭盆会父母の墓前に孫息等と
詣では幾年八十路に在れば
中屋 吉恵
遠き日に綿入れはんてんもひきで
馬草背負いし祖父を想いて
野口のぶ子
大きめのピンに差しおく桔梗花
その紫に秋の静けさ

日比野フク子
母親と慕い来たりし義姉急死
おしむ心に思い出深し

藤原 孝義
一心に墓標に向いて手と含わす
老婆は何を願っているや
宮谷内誠子

鎮魂の祈りを込めて仰ぎ見る
空いっぱいの大輪花火
脇山 好子
思い出は土風匂うふるさとの
友と歩いた細い砂利道

俳句（蘭越俳句会から） 寿鳳選
上野 朝子
変りなき今日という日や焼秋刀魚

西岡 孝一
秋刀魚焼く嫁と七輪今むかし

中兼裕美子
軒先に虫の音ひびく夜の深さ
藤原 孝義
屋根を打つ木の実に目覚む眠りかな
小川 澄江

逆らはず風の形に秋桜
田中 昇
髪落らて抜ける青空秋すだけ
土方よしの
見上ぐれば雲の白さや今朝の秋

選者吟
石坂 寿鳳
秋の陽をあらこら拾い豆と干す

◆ホットひと休み◆

～ 神無月 ～



編集室

札幌の老舗百貨店で、らんこし米が販売されています。農家の方々が自らデパートと交渉して、販路を拡大、対面販売も行っています。農家の皆さんの力強さを感じました。（ま）

町内の方々に、ペットを飼われている方は、大勢いられると思います。先日、オフトークの電池交換で伺ったお宅では、見えた範囲では、リス一匹、カメ3匹。でその1匹のカメさんの大きさが水族館以外で見たカメさんで最大でした。種類は緑ガメだそうですが、とにかく大きかったです。甲羅の長さは大体30センチはあったのではないのでしょうか。とても迫力がありました。エサは、何を与えていますか？って尋ねましたら市販のカメのエサだそうです。ご近所のお宅なので、また拝見させていただけたらいいな。（た）